

企業版ふるさと納税を活用した ご寄附のお願い

京都府「iPS細胞による再生医療等の技術開発応援プロジェクト」

病気や怪我に苦しむ世界中の方が待ち望むiPS細胞技術の研究開発を加速させ、iPS細胞技術を「誰もが受けられる医療」にすること等を目指すプロジェクトに対し、これまで全国の皆様から多くのご寄附を賜っており、心より感謝申し上げます。

頂いた寄附金は、(公財)京都大学iPS細胞研究財団(iPS財団)への支援や様々な社会課題の解決を図るプロジェクトに活用されています。

こうしたiPS細胞技術の実用化をはじめとする人類の課題解決に向けた取組を、前進させるため、今年度も寄附を募ります。皆様からの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

目標金額：2,200万円 寄附受付期間：2023/10/2～2023/12/31

◆寄附金の使い道

- (1) iPS細胞技術を活かした再生医療等の推進、関連産業の振興 (公財)京都大学iPS細胞研究財団への支援
- (2) 様々な社会課題の解決に取り組むスタートアップ企業への支援

◆ご寄附の申込方法

下記をご参照の上、お手続き願います。法人・企業様はインターネットではお申込できません。
※ご寄附にあたり、法人様へ納付書等を郵送する為、お申出は2023.12.15頃迄にお願いいたします。

種別	手 段	申 込 方 法
ふるさと納税	クラウドファンディング	寄附サイトページ(インターネット)より申込願います
	振込(銀行・郵便局)	
寄附	京都府外の企業より振込	以下まで、お問い合わせ願います 京都府 商工労働観光部 ものづくり振興課 特区・イノベーション推進係 TEL:075-414-4853 Email:monozukuri@pref.kyoto.lg.jp 本文に名前(漢字/か)、住所、電話番号を記載
	京都府内の企業より振込	

企業版ふるさと納税とは？

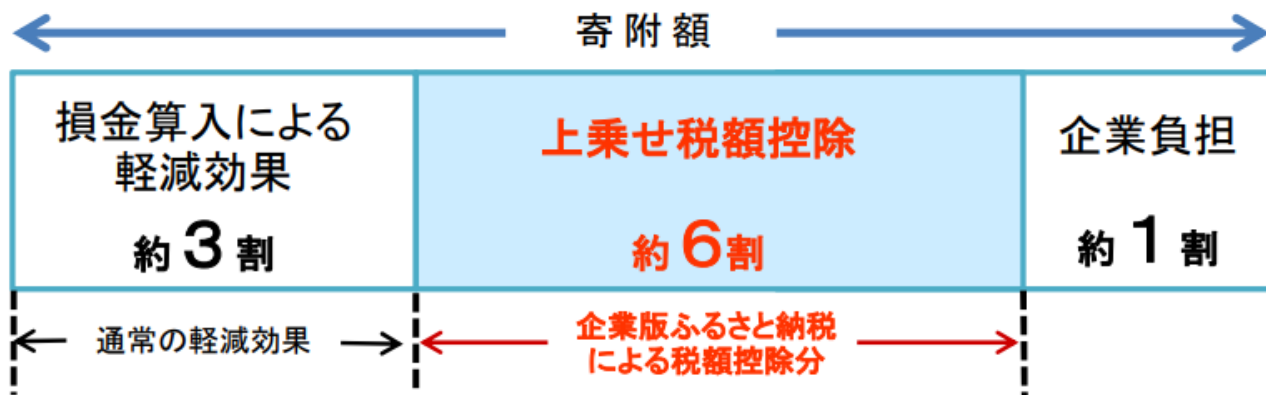
地方公共団体による地方創生の取組に対して、企業が寄附した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです(詳細は裏面をご参照)

京都府 商工労働観光部 ものづくり振興課



◆企業版ふるさと納税による寄附をした場合のメリット

最大、寄附額の約9割に相当する税額が軽減



※ 税目ごとの特例措置の内容

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税の控除額が寄附額4割に達しない場合、寄附額の4割に相当する額から法人住民税の控除額を差し引いた額を控除(寄附額の1割、法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)

※上記のほか、社会貢献・企業のイメージアップ等も期待されます。詳細の適用要件等は内閣府HPをご参照願います。

◆京都のバイオベンチャーによるiPS細胞の実用化に向けた取組例

HiLung(株)

ヒトiPS肺細胞で「すべての人に健やかな呼吸を」

肺炎・肺がん等の呼吸器疾患で苦しむ多くの方を救う為、ヒトの肺細胞を大量製造し、肺の病気の研究や治療薬候補の効果予測を行う、精巧かつ汎用性の高い“ミクロンサイズのシミュレーター”として応用・事業化。当社の提供する“iPS肺細胞”は新型コロナウイルスや今後の世界的流行を起こしうるウイルス感染の研究や創薬をはじめ、世界中で活用されている。



リバーセル(株)

がん細胞やウイルスを殺すキラーT細胞を、汎用性の高い即納型T細胞製剤として提供

独自技術(特許取得)により、他家iPS細胞から高品質なキラーT細胞の作製に成功。現行の自家免疫細胞移植と比較して、短時間・低コスト・安定品質を実現する。また、各種感染症への適応も可能。2025年に急性骨髄性白血病に対する医師主導型治験を開始する予定。今後は固形がんにも適用範囲を拡大するため、開発を進めている。



◆参考 (事業の詳細)

<ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」から確認>

本プロジェクトの詳細はこちらをご参照ください。法人様は以下からはお申込できません。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2616>



◆お問い合わせ先

京都府 商工労働観光部 ものづくり振興課

TEL:075-414-4853 FAX:075-414-4842 Email:monozukuri@pref.kyoto.lg.jp

(メールの際は、本文に名前(漢字/カナ)、住所、電話番号を記載の上、ご連絡願います)